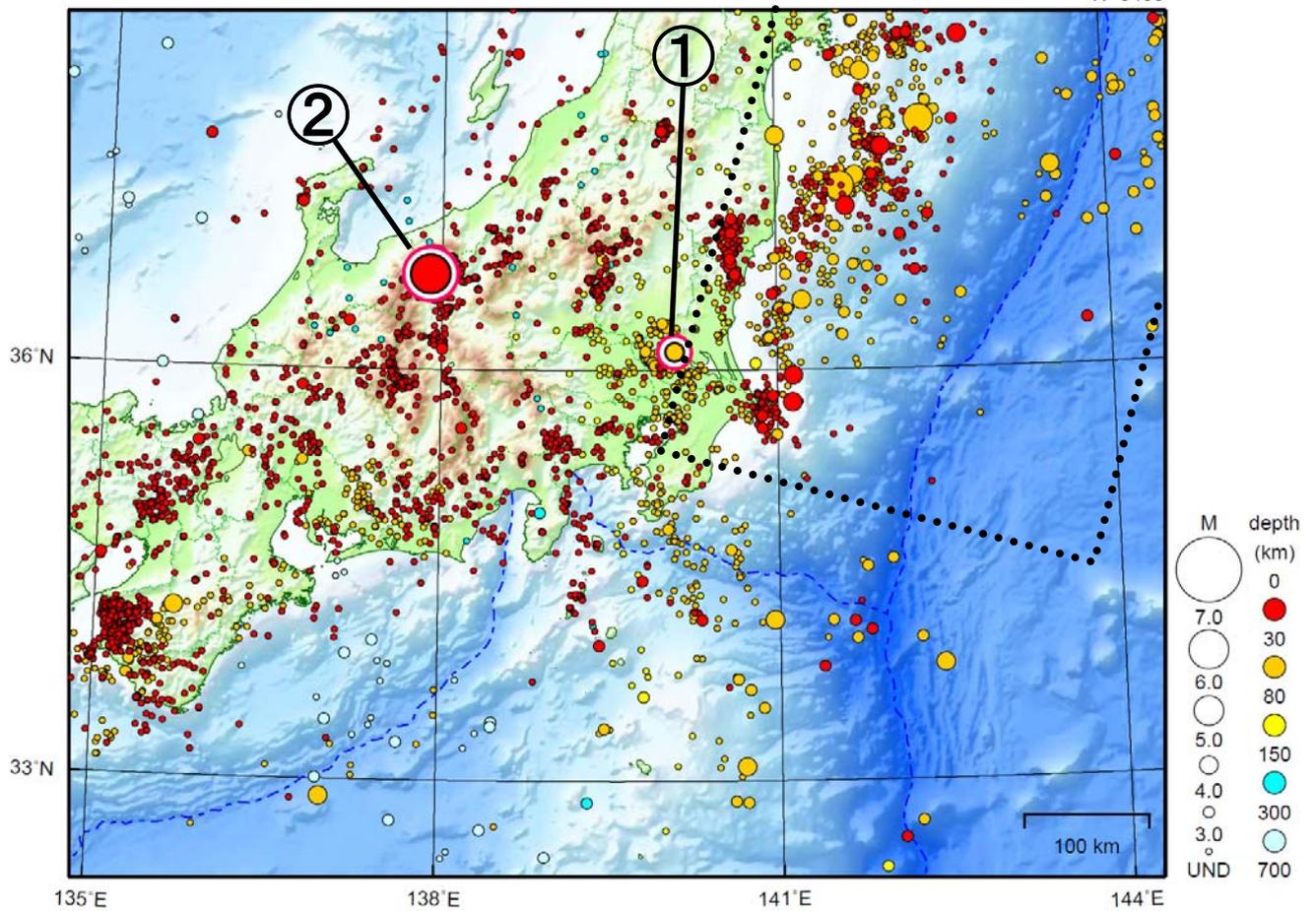


関東・中部地方

2014/11/01 00:00 ~ 2014/11/30 24:00

N=5455



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- ① 11 月 12 日に茨城県南部で M4.8 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ② 11 月 22 日 22 時 08 分に長野県北部で M6.7 の地震（最大震度 6 弱）が発生した。この地震の震源付近では、この地震の後、11 月 22 日 22 時 37 分に M4.5 の地震（最大震度 5 弱）が発生するなど、12 月 7 日までに、震度 1 以上を観測する余震が 113 回*発生した。

*この値は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

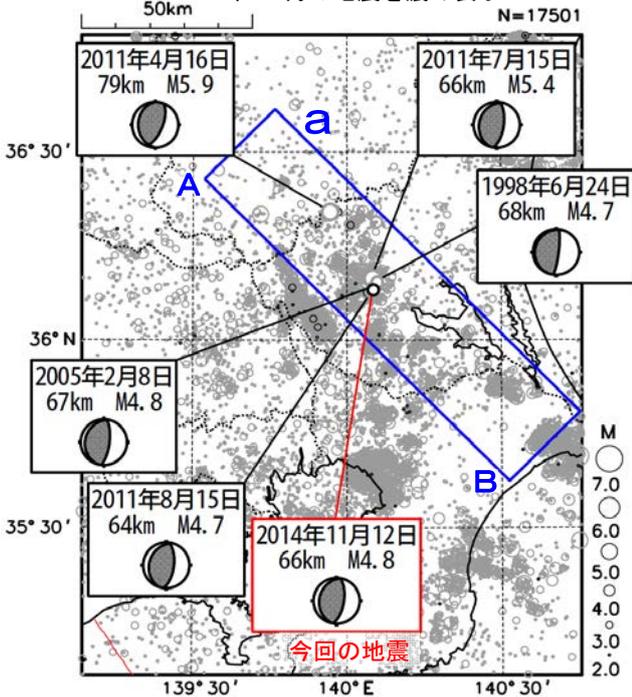
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

11月12日 茨城県南部の地震

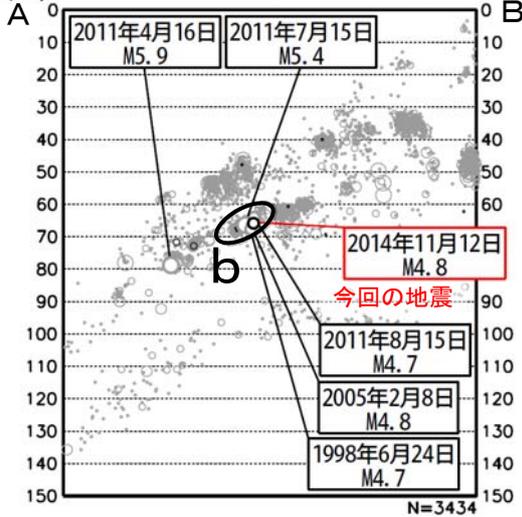
震央分布図

(1997年10月1日～2014年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2014年11月の地震を濃く表示

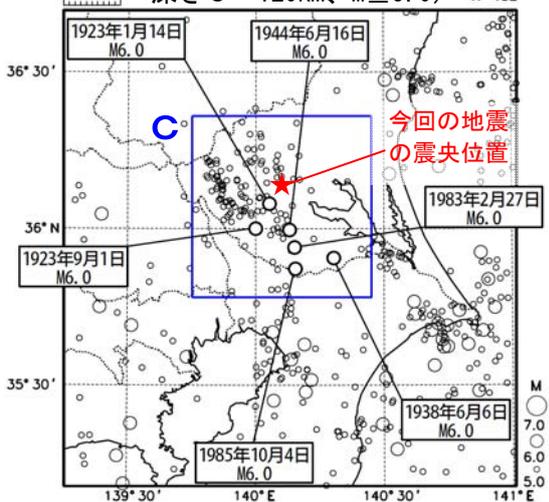


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2014年11月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)

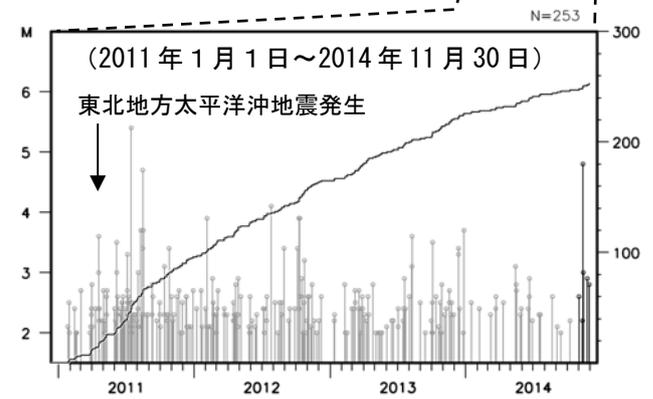
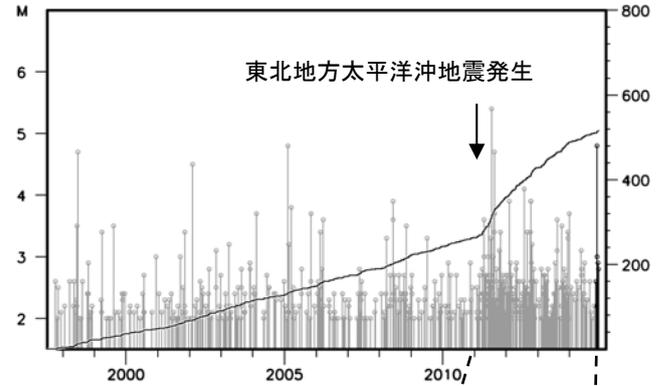


2014年11月12日09時53分に茨城県南部の深さ66kmでM4.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

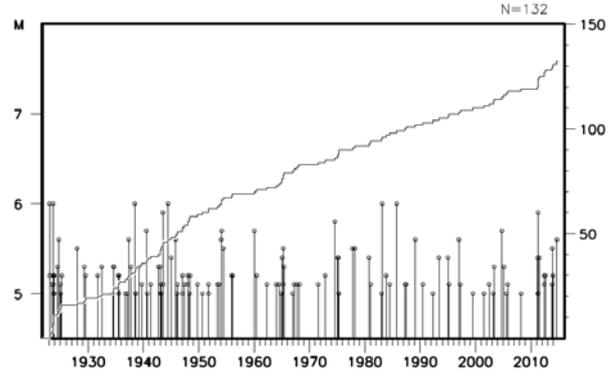
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M4.0以上の地震が時々発生している。この領域では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が以前より活発になっており、2011年7月15日にはM5.4の地震(最大震度5弱)、同年8月15日にはM4.7の地震(最大震度4)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図及び回数積算図

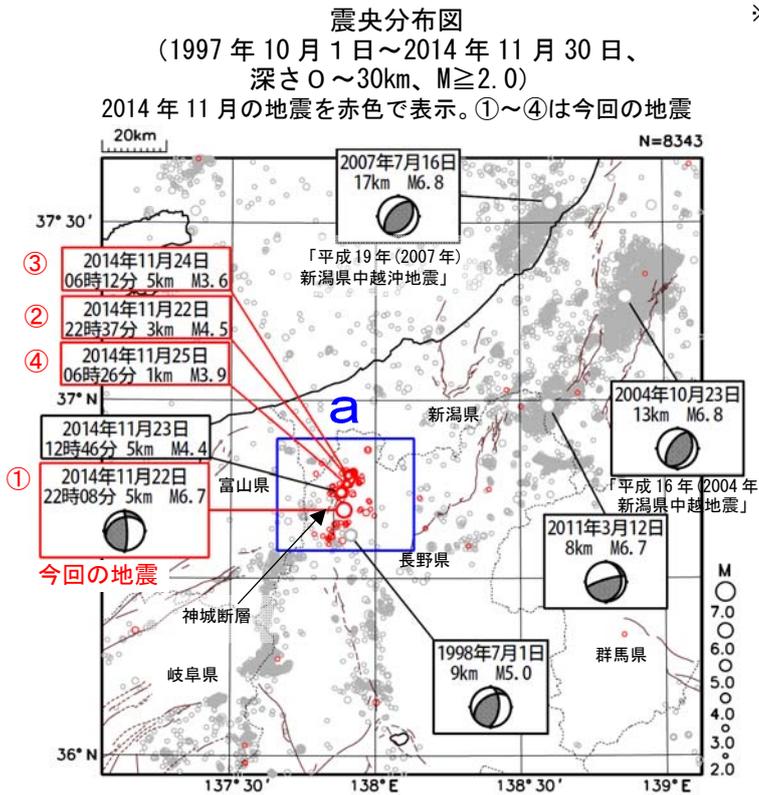


11月22日 長野県北部の地震

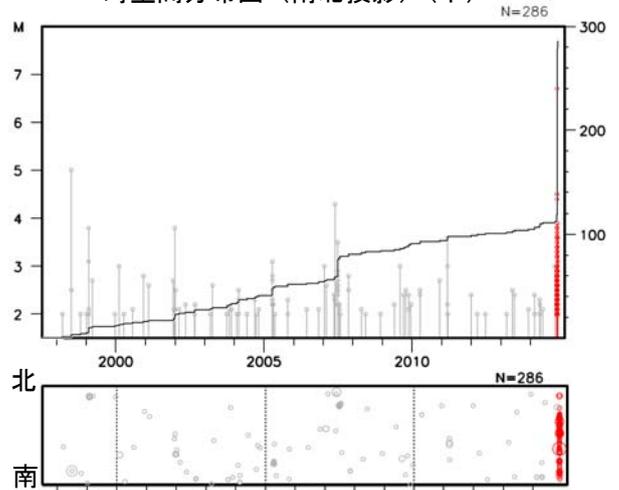
2014年11月22日22時08分に長野県北部の深さ5kmでM6.7の地震（最大震度6弱、①）が発生した。この地震により負傷者46人、住家全壊36棟、住家半壊66棟などの被害を生じた（12月1日13時30分現在、総務省消防庁による）。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

この地震の発生後、小谷村から白馬村にかけての南北約20kmの領域で余震活動がみられた。余震は次第に減少してきている。最大規模の余震は同日22時37分に発生したM4.5の地震（最大震度5弱、②）である。このほか、24日06時12分にM3.6の地震（最大震度4、③）、25日06時26分にM3.9の地震（最大震度4、④）など、12月7日までに震度1以上を観測した余震が113回^{*}発生した。これらの余震活動がみられた領域は、糸魚川－静岡構造線活断層系の一部である神城（かみしろ）断層の位置にほぼ一致している。

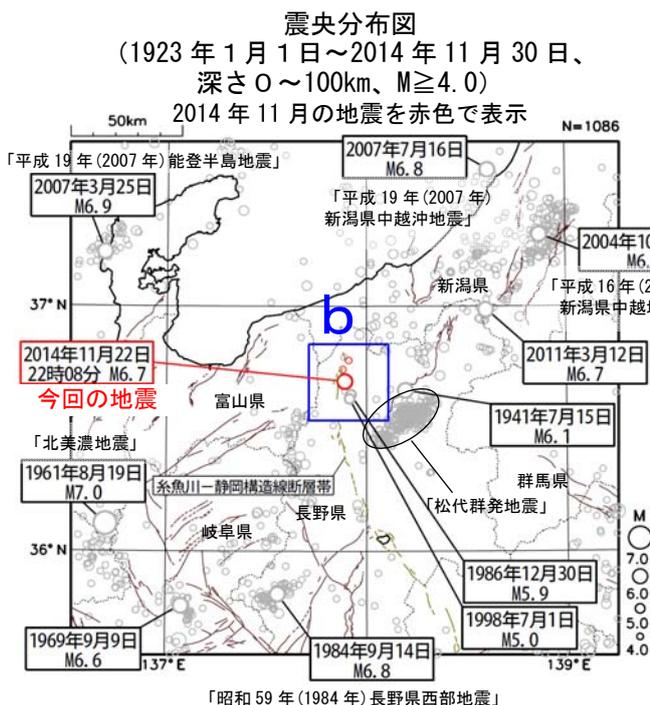
※この値は速報値であり、後日の調査で変更することがあります



領域a内のM-T図及び回数積算図(上)、時空間分布図(南北投影)(下)

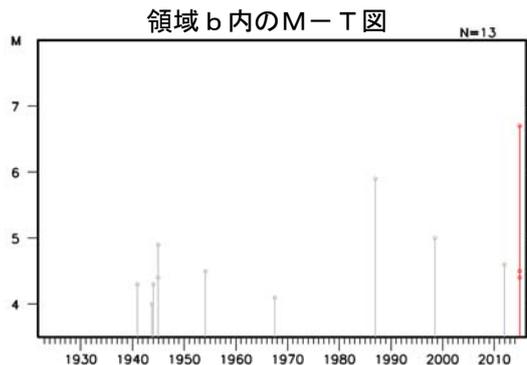


図中の茶細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す



1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、1998年7月1日にM5.0の地震（最大震度4）が発生している。

また、1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域b）では、1986年12月30日にM5.9の地震（最大震度4）が発生し、道路被害4ヶ所などの被害を生じている（「日本被害地震総覧」による）。



図中の茶細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

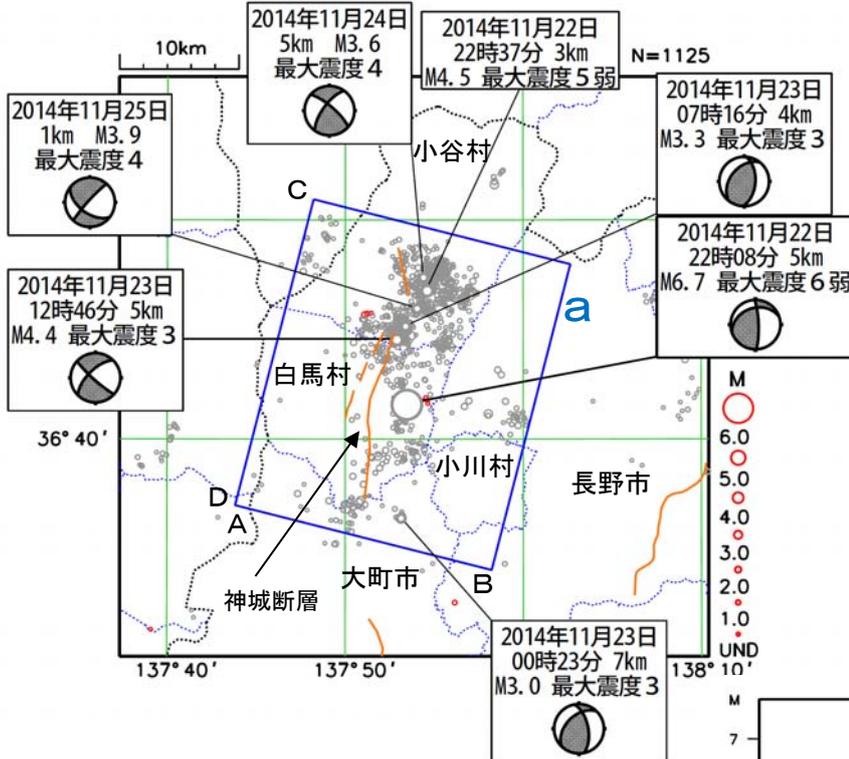
11月22日 長野県北部の地震 前後の地震活動

11月22日22時08分に発生した長野県北部のM6.7の地震の震源付近では、11月18日から規模の小さな地震活動がみられた。22日のM6.7の地震発生後は余震活動がみられたが、その活動は過去に内陸で発生した同程度の規模の地震に比べて低調であった。

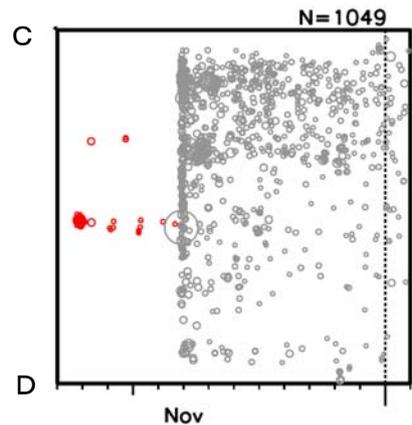
震央分布図

(2014年11月18日～12月1日、深さ0～20km、Mすべて)

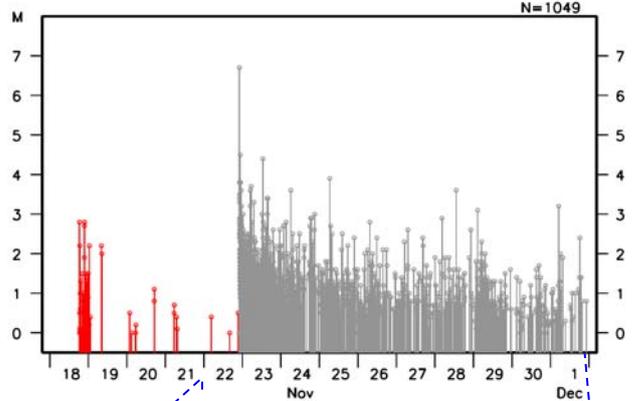
11月22日22時07分までの地震を赤で示す



領域 a 内の時空間分布図 (C-D 投影)

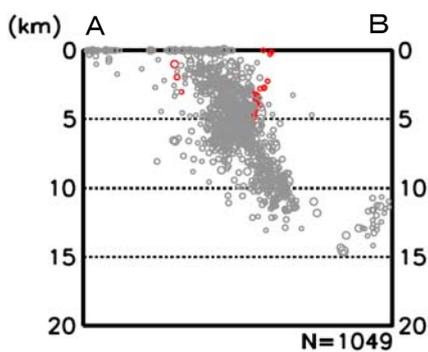


領域 a 内の M-T 図

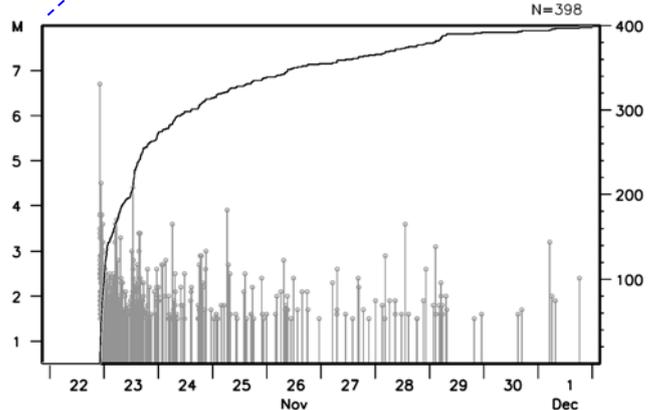


図中の細線 (オレンジ) は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図 (2014年11月22日～12月1日、M≥1.5)

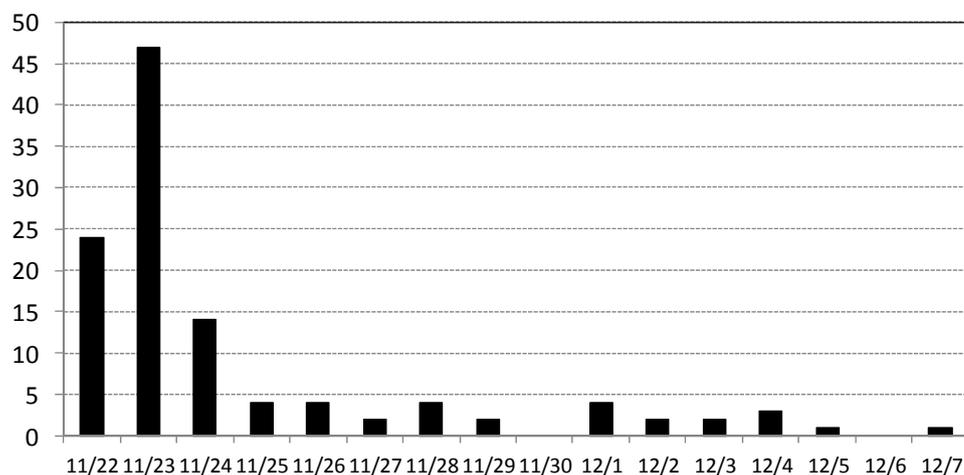


本資料中、2014年11月22日22時08分以降のM1.5未満の地震データは未処理のものがある。

震度1以上の最大震度別地震回数表（2014年11月22日22時～12月7日、本震含む）

期間	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計
14/11/22 22:00-24:00	13	7	2	0	1	0	1	0	0	24	24
11/23 00:00-24:00	35	6	6	0	0	0	0	0	0	47	71
11/24 00:00-24:00	7	6	0	1	0	0	0	0	0	14	85
11/25 00:00-24:00	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4	89
11/26 00:00-24:00	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	93
11/27 00:00-24:00	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	95
11/28 00:00-24:00	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	99
11/29 00:00-24:00	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	101
11/30 00:00-24:00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101
12/01 00:00-24:00	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	105
12/02 00:00-24:00	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	107
12/03 00:00-24:00	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	109
12/04 00:00-24:00	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	112
12/05 00:00-24:00	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	113
12/06 00:00-24:00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113
12/07 00:00-24:00	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	114

1日あたりの回数(回)



震度1以上の日別地震回数グラフ（2014年11月22日22時～12月7日、本震含む）

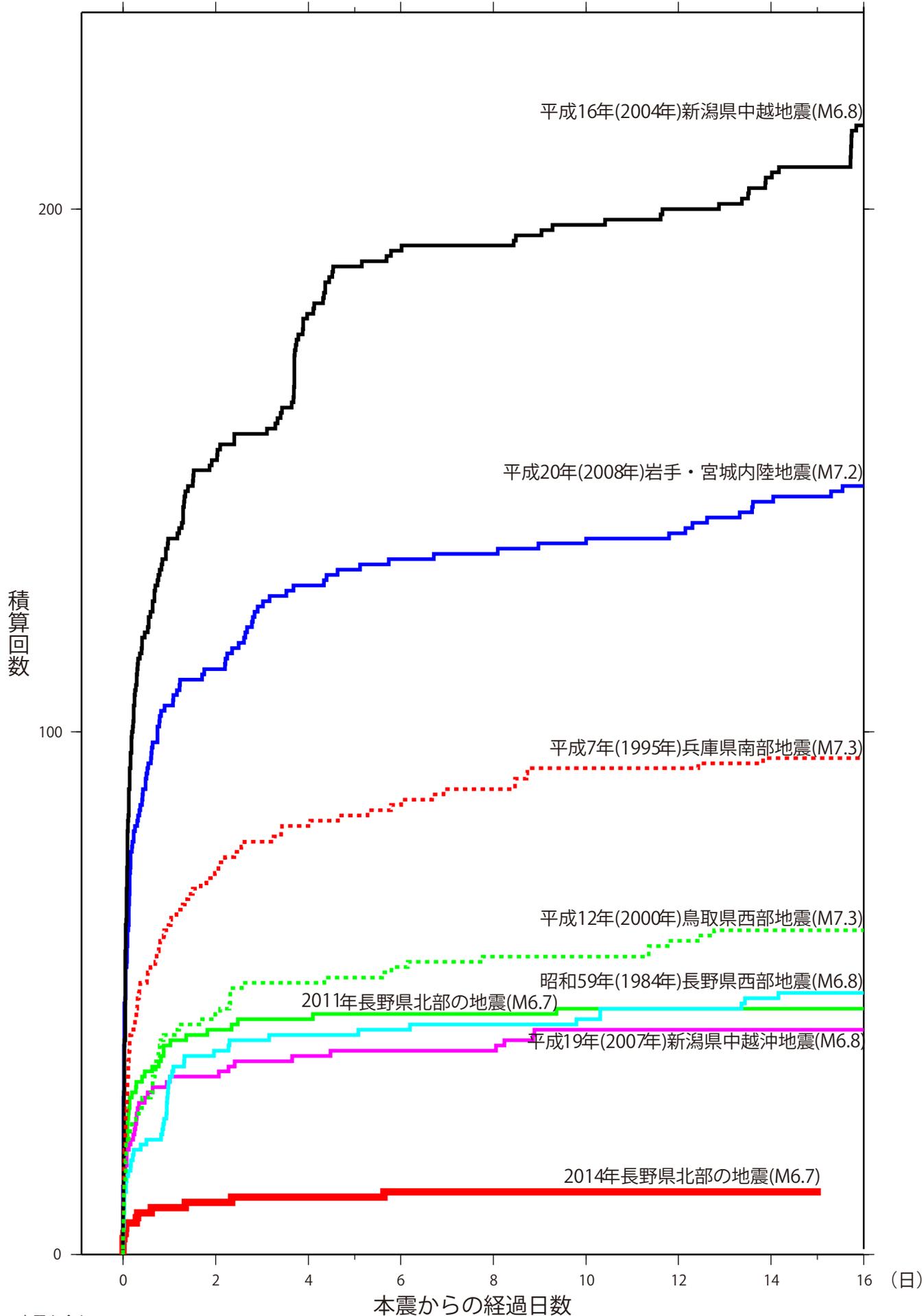
※上記の最大震度別地震回数表および日別地震回数グラフは速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

震度3以上を観測した地震（2014年11月22日22時～12月7日、本震含む、震央地名は全て長野県北部）

No.	発生日時		深さ (km)	マグニチュード	最大震度
1	11/22	22:08	5	6.7	6弱
2	11/22	22:11	5	3.8	3
3	11/22	22:37	3	4.5	5弱
4	11/22	22:54	3	3.8	3
5	11/23	00:23	7	3.0	3
6	11/23	04:53	ごく浅い	3.6	3
7	11/23	05:33	5	3.7	3
8	11/23	07:16	4	3.3	3
9	11/23	12:46	5	4.4	3
10	11/23	15:56	5	3.4	3
11	11/24	06:12	5	3.6	4
12	11/25	06:26	1	3.9	4
13	11/28	13:13	4	3.6	3

内陸及び沿岸で発生した主な地震の 余震回数比較（※本震を含む）（マグニチュード3.5以上）

2014年12月07日24時00分現在



※本震を含む。

※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

気象庁作成